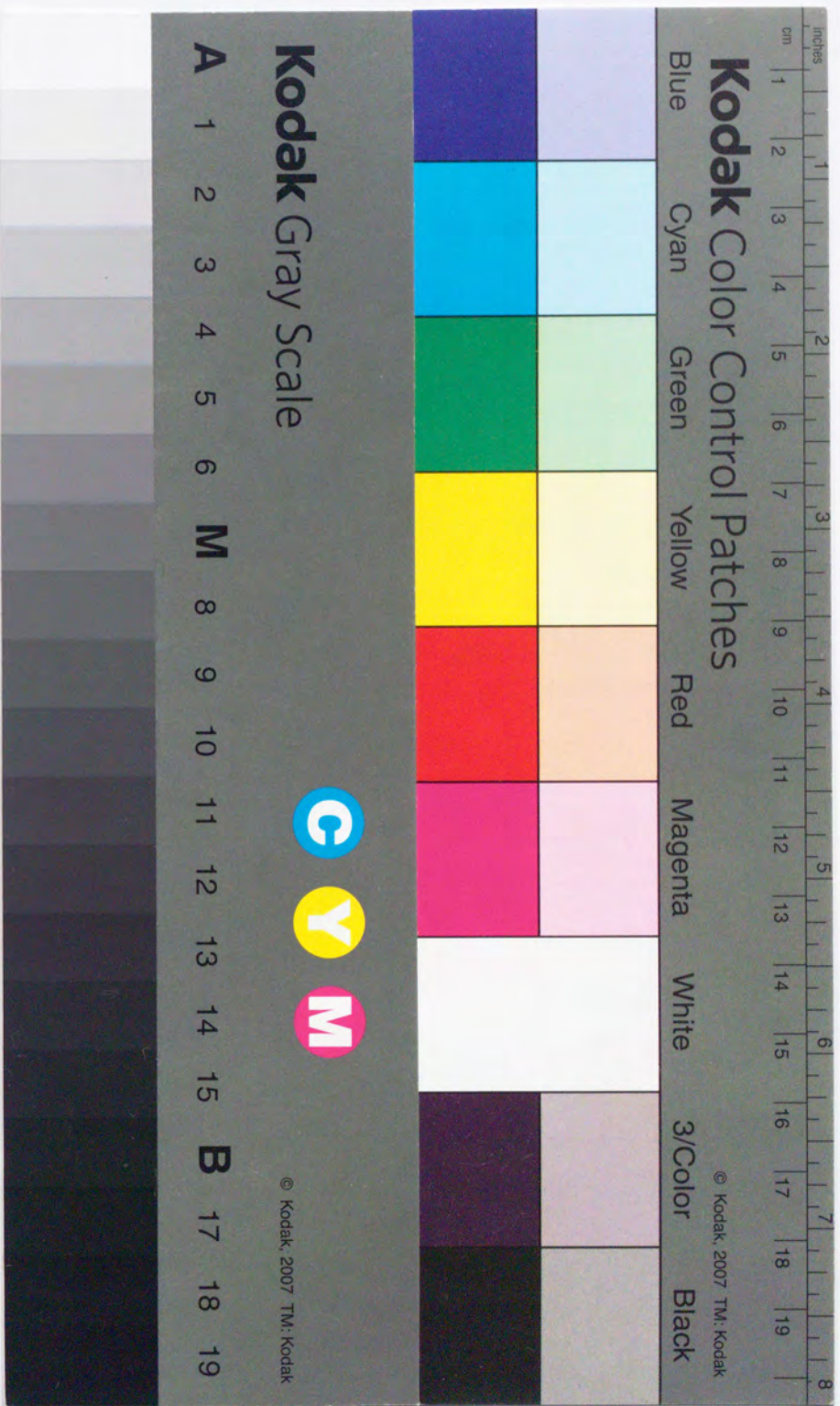




けいせい色三味線

目録 郎之巻

才一女郎は仲づいてゐる様本町

ねえねえ今何の子供の
りのはれ命のあつと
りとも男あつと人のあつ
あつと云々の里

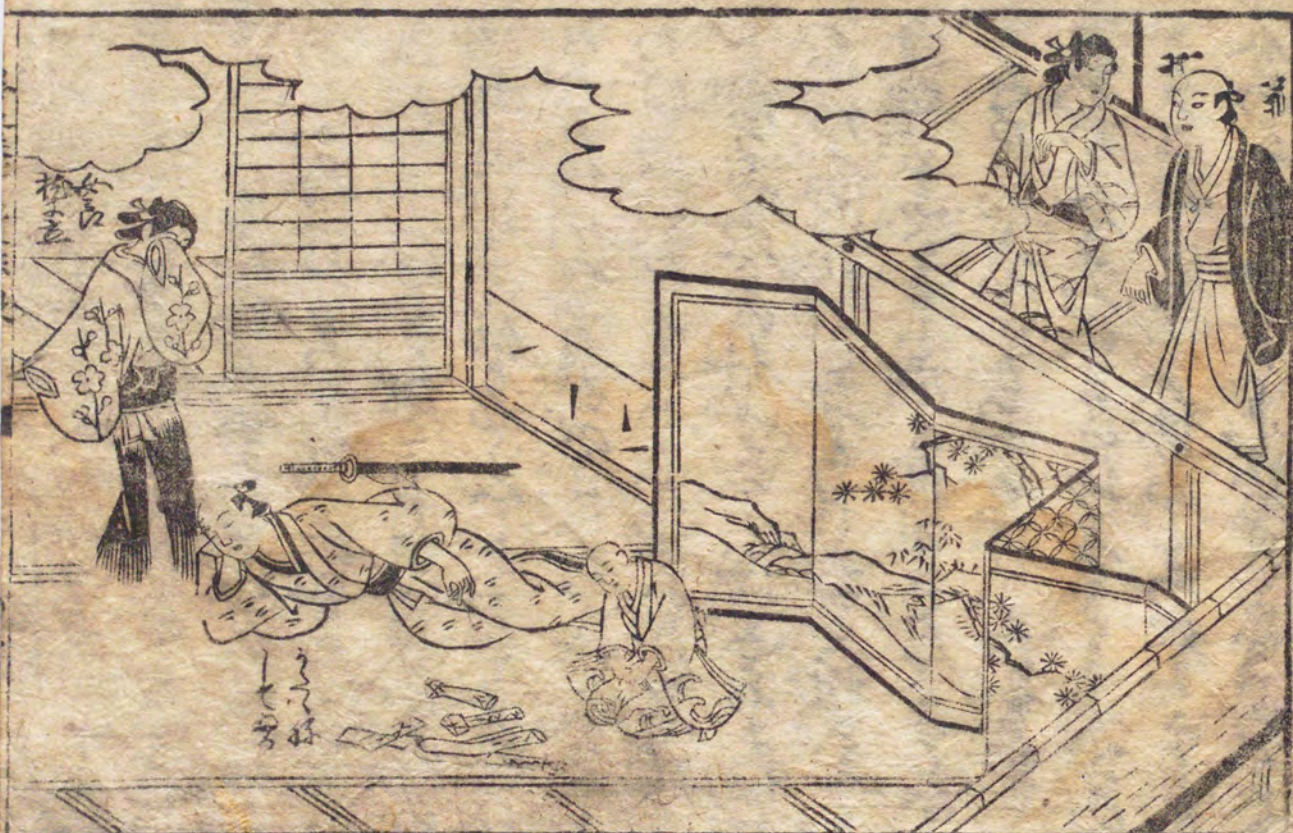
才一 亥の焼付は本町の門立

小あの子はこころ女郎
とまのる海ふれり
あつと云々の里
あつと云々の里



くらゐさうしておとふらうと云張の
 御ふじりの親さんと何うあるは泣かぬに
 あれをまづ仲子の撫ひなともあかきと
 して先づあやどく三死まで歎て
 わげ今も小なる氣あるでうへをね
 今朝ゆより雨し文とるふ秋ふた上
 わいぬまゆあのをそめて耳ふ余の
 恨のむりもわづむ言もえをわが
 まごの光夜物語る久病小體をあら
 今のせんとくわくわと海国安んぢ
 りみ斗美の極我のころ初よさま
 悲わまびおす所のうすうらこを
 月小あても白くもせんめつら
 とあれが感ふひきて孤後の村小母方
 の他世われは是と来ぬ下りの終て

自來小やせりとも。髪のきりかも。髪を
 今より我の死せり。めとまひてまは
 髪をたね小あせと。髪をの髪のかり
 髪をの髪をたねせと。かりまは
 髪をの髪をたねせと。かりまは
 髪をの髪をたねせと。かりまは
 髪をの髪をたねせと。かりまは



大津の長町

[illegible]

いふ一つはちとあてようと思ひ計で
ある事や從^{したが}ひつ時代は男が
大せて女の旁う抱あてあつゝあり
あわれん世はわけて死^しうと今日の
身の上とわづせいで人のゆくまゝ
と云むびりせん其の素もるてなれ
たれを聚束^{あひくみ}汗^{あせ}はぬきて田舎^{いなか}の草中^{くさなかつ}
に立てふあまれくゆといふ道^{みち}は死^しく
の豫家^{よけ}ありてもこの蓋^{かぶ}新^{あらた}うと申^{まう}す
よりの仲^{うち}のさむじさうかうさめつゝ奥^{おく}
ゆつくもなるふのぞげを食^{くら}焼女^{やきめ}と
さどびしてあまいたれくのめ一つ女
^(Amami)
は美^{うつく}しい一帯^{いちたい}同^{どう}ふちそ是^{こゝ}天^{あま}の岩^{いわ}戸^どの
うね大^{おほ}石^{いし}のつれあふやと元^{もと}手^て力^{りき}雄^{ゆう}の
神^{かん}力^{りき}あつむの奥^{おく}の板^{いた}戸^ど引^ひひいてゐて

[illegible]



【四】高瀬ちきよ蔵書

仁三條總持のせうふ主のまゝのせうふのまゝ

今時の男^{おとこ}人^{ひと}何^{なん}れ^いを^を爲^なす^す事^{こと}た^たわ^わそ^のの^のあり^{あり}あ
 り^りと^とお^おぢ^ぢき^き狂^{くる}ま^まじ^じり^りと^との^のあり^{あり}れ
 う^うら^らち^ち母^{はは}事^{こと}も^もま^まと^との^の福^{ふく}は^はま^まし^し福^{ふく}は
 よ^よい^いと^とい^いな^なま^ま増^ぞて^て錦^{にしき}座^ざを^を女^を礼^れ髪^{かみ}を^を
 い^いま^まり^り事^{こと}け^け打^{うち}の^の殺^{ころ}し^し師^しが^がこ^この^のあ^あも^も
 せ^せら^らと^とさ^さう^うの^のも^も又^{また}そ^その^のま^まで^で極^{ごく}も^もを^を度^ど
 へ^へつ^つて^てか^かも^もん^んと^とか^かと^と繋^{つな}い^いは^はし^しと^とそ^その^の
 ゆ^ゆが^がま^まり^り破^やれ^れそ^その^の天^{てん}王^{わう}ま^まも^もあ^あて^ての^のけ^け
 わ^わこ^こま^まか^かつ^つ乳^{ちち}を^を互^{たが}り^りも^もあ^あて^てて^てそ^その^のあ^あも^も
 ま^まし^しね^ねれ^れの^の力^{ちから}を^をま^まの^の公^{こう}車^{くるま}に^に添^そえ^えて^てい^いと
 さ^さう^うの^のま^まに^に帝^{てい}破^は急^{きう}か^かに^に和^わ解^{かい}う^うあ^あま^ま
 ば^ばそ^その^のま^まに^に世^よ界^{かい}の^の人^{ひと}が^が一^{いっ}来^{ぱい}も^も名^なを^をあ^あら^ら
 じ^じの^の候^{こう}を^を一^{いっ}掃^{そう}る^る掃^{そう}る^ると^とい^いふ^ふわ^わこ^この^のあり



[illegible][illegible]

[illegible]

11 E-2

